

教員用 授業の流れ

1. 授業実施場所

3 年 1 組 (国際)、2 組 (人文)、視聴覚室 (社会科学)、3 組 (複合領域) 教室

担当：国際 (2 組正・副担任) 人文 (3 組正・副担任) 社会科学 (4 組正・副担任)

複合領域 (1 組正・副担任)

2. 生徒の持ち物

課題研究メソッド、課題研究ノート、参考文献・資料

3. 教員の準備するもの

生徒の提出した春休み課題 (付箋)

4. 授業展開例

	時間	学習内容	教員の指導・留意点
導入	15:20 ～	①班をつくる。 班長を決め、メンバーを用紙に書かせる。 課題研究のレベルを上げたいと思います。厳しく突っ込んでください。 最終ゴールは、課題研究によって社会貢献できるものを発信すること。多面的に調べ、自分たちのオリジナルなものを論文にまとめ、ポスターで発表させたいです。答えありきにならないテーマを設定させたいです。	○活動班をつくるため、生徒同士で 3～5 名に分かれる。 <u>7 限までに紙に自分のテーマを書かせ用意させる (担任)。</u> 7 限にそれを見せ合い生徒にグルーピングさせる。(仲良し同士で集まるのではなく、テーマや興味が近い者で構成させる。明らかに違うテーマの者がいれば、理由を聞く。他の人のテーマに賛同したのであれば認める。)
	15:35	②参考文献・資料から課題研究ノート P.2 にキーワードを記入する。	・机間指導
	15:55	③キーワードマッピングを班で行う。 「課題研究メソッド」P.46 参考	・机間指導 A3 二枚の大きさにマッピングさせる。
		④No6『研究テーマを決める』 「課題研究メソッド」P.47 参考 課題研究ノート P.8	④ができた班から班長の「課題研究ノート」を提出。できてない班は金曜日 (20 日) までに提出。先生方は P.8 をチェックしてアドバイスをお願いします。
	16:08	次回の予告 (研究計画書の作成) のために文献を調べ、持参することを理解する。	・次回の予告 (研究計画書の作成をすること) を伝え、文献を調べ、持参することを伝える。 (次回はリサーチクエスチョンと仮説の設定から)